

踏切と～まれ！

『厳寒季の踏切事故防止キャンペーン』を行います！

JR北海道では、1月21日から1月30日まで、凍結路面でのスリップ等による踏切事故の防止を図り、安全・安定輸送を確保するため、「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

踏切事故は、昨年度JR北海道では13件発生しており、そのうち6件が12月から3月の冬期間に発生しています。また平成22年1月29日に函館線深川～妹背牛間の深川6号線踏切で発生した事故では、42名のお客様が負傷されております。このように踏切事故は一度発生すると列車運休などの大きな輸送障害となるばかりでなく、ひいては悲惨な死傷事故にもつながります。

これから本格的な厳寒季を迎えるにあたり、道路はますます滑りやすい危険な状態になることが想定されます。

そこで「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」では、社員による踏切・駅頭での啓発活動などを通して「踏切手前での確実な一旦停止」「早めのブレーキとスピードダウン」など、踏切での安全通行をドライバーに呼びかけるとともに、道路管理者に対して踏切前後の早め除雪と踏切手前でのスリップ防止対策の強化を要請していきます。

記

1 実施期間

平成25年1月21日(月)から1月30日(水)までの10日間

2 実施内容

- ・ テレビ、ラジオCMによる踏切事故防止の呼びかけ
- ・ 踏切、駅頭等でのパンフレット、ポケットティッシュ配布による啓発活動
- ・ 主要駅、列車内での放送案内による協力要請
- ・ 特急列車の客室内情報表示装置による協力要請
- ・ 関係機関・企業及び各団体等への啓発依頼

3 実施計画

(別紙) 釧路支社管内における事故防止PR活動

<本年度に発生した踏切事故>

1月17日現在本年度の踏切事故は3件発生しています。

- ・ 7月26日、函館本線 滝川～江部乙駅間の江部乙11丁目踏切で、踏切内に止まっていた乗用車に列車が衝撃
- ・ 10月20日、根室本線 釧路構内の木工場踏切で、先詰まりで踏切内に止まっていた乗用車に列車が衝撃
- ・ 11月27日、函館本線 幌向～上幌向駅間の東6号線踏切で、列車通過中に踏切に進入した乗用車が列車の側面に衝撃

(別紙)

釧路支社管内における事故防止PR活動

各地区において踏切事故防止のPR活動を行います。PRに際しては、ノボリを掲出し各地区のJR社員が踏切事故防止キャンペーン用ポケットティッシュやリーフレットを配布し、JRご利用の皆様や踏切通行者の皆様に広く踏切事故防止のお願いを呼び掛けていきます。

帯 広 地 区	帯広駅北側・東側コンコース 1月21日(月)10:30~11:00 ほか7踏切で啓発予定 (キャンペーン期間中)
釧 路 地 区	釧路駅地下道入り口前 1月21日(月)10:45~11:15 ほか4踏切で啓発予定 (キャンペーン期間中)

※ なお、当日の天候や道路状況等により、予定を変更・中止をする場合があります。